

1 カリキュラム・ポリシー

- 観光学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下の通りのカリキュラムを編成しています。

- ① 1年間の海外留学を含めて4年間の在籍で卒業が可能となるように設計する。
- ② 留学出発前の第1 Semesterから第3 Semesterまでは、国際共通語である英語力の伸長を図ることに力点を置くカリキュラムとする。同時に、情報の収集・分析・表現力の育成を重視した科目を配置する。また、観光に関する基礎的な科目を履修できるようにする。
- ③ 第4 Semesterおよび第5 Semesterでは、「観光学部留学プログラム」に参加し、高度な英語力への伸長を図るとともに、異文化を理解し、交流を実践し、多様な価値観を有する人々と共生できるようにする。
- ④ 留学終了後の第6 Semesterから第8 Semesterでは、主として観光に関する専門的な学習を集中的に行うべく、「観光ビジネス」「観光による地域振興」「観光を通じた国際交流」の3つの履修モデルを想定し、多様な専門科目を体系的に配置する。幅広い観点から専門的な理解を深め、観光の意義や役割、現状と課題を認識し理解できる能力を養成する。さらに、自身の関心をもった分野について、問題の発見、情報の収集と分析、解決策の立案を行う機会を提供する。

2 観光学部留学プログラム

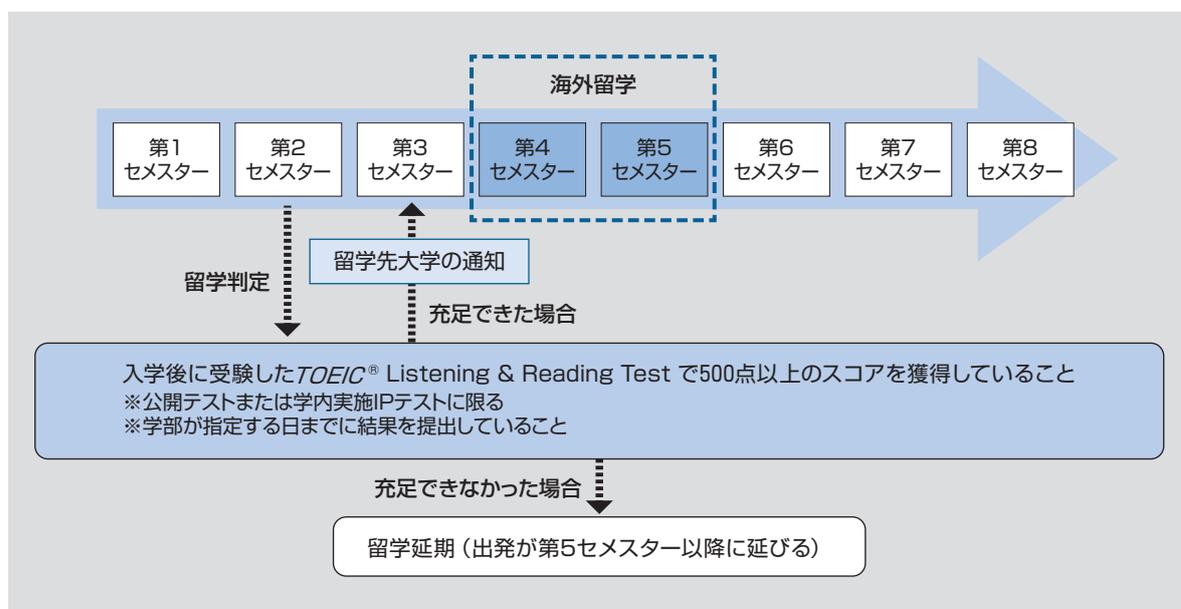
- 観光学部では1年間の留学が必修となります。そのために、「観光学部留学プログラム（Tourism and Hospitality Overseas Program、THE Top）」が実施されています。

1 目的

- 「観光学部留学プログラム」では、異文化体験を通して、国際社会で活躍できる英語力と国際理解力の養成を目指します。

2 留学条件

- 第2 Semester（1年次）終了時において、留学条件を満たしているか否かのチェック（留学判定）が行われます。
- 留学条件は「留学に必要な英語運用力を備えているか否か」の観点から定められています。具体的には「入学後に受験したTOEIC® Listening & Reading Test(略称：TOEIC® L&R) 公開テストまたは玉川大学内で実施するIPテストで500点以上のスコアを取得していること」です。
- 留学条件を満たしたすべての学生は、オーストラリアのビクトリア州にある「ディーキン大学（Deakin University）」「スウィンバーン工科大学（Swinburne University of Technology）」「ビクトリア大学（Victoria University）」の計4大学の中から、玉川大学が決定・通知する大学に第4 Semester・第5 Semesterの期間に留学することになります。
、クィーンズランド州にある「グリフィス大学（Griffith University）」
- 第2 Semester終了時の留学判定において留学条件を満たせなかった場合は、留学出発が延期となります。次の留学判定は第3 Semester終了時に行います。ここで留学条件を満たした場合は、第5 Semester・第6 Semesterの期間に留学をします。一方、ここでも留学条件を満たせなかった場合は、留学出発が再び延期となり、次の留学判定は第4 Semester終了時となります。
- なお、第4 Semester終了時の留学判定においても条件を満たせない場合は、留学延期が継続するとともに、4年間で卒業できないことが確定します。
- 留学出発が延期となった場合は、別途履修指導が行われます。



3 現地での学習

- 「観光学部留学プログラム」の学習上の最大の特徴は、現地において英語の習得を図るだけでなく、グローバル・スタンダードの大学での学びを経験できることにあります。
- そこで、留学の前半は、大学附属の語学学校（English Language Intensive Courses for Overseas Students, ELICOS）にて20週間の学修を行い、現地の大学での学修に耐えうる英語力を身につけます。
- 留学の後半は、ELICOSで習得した語学力に応じて、原則としてBachelor（現地の大学2年以上相当）またはDiploma（現地の大学1年相当）のいずれかのコースにて1セメスターの学修を行います。

4 留学中の単位の読み替え

- 留学期間中の現地での学修成果に対する玉川大学の開設科目への単位の読み替えは、留学終了時のセメスターの成績評価の際に一括して行います。
- 留学中の大学における学修で最大32単位、「インターンシップ」で最大4単位の読み替えが可能です。

3 卒業要件

- (1) 修業年限を満たすこと
-
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
-
- (3) 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
-
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
社会科学科目群：「経済学（国際経済を含む）」
自然科学科目群：「データ処理」「統計学入門」
学 際 科 目 群：「国際研究 B」「国際研究 C」「インターンシップ A」「インターンシップ B」
-
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修選択科目を修得していること
人文科学科目群：4単位以上
社会科学科目群：2単位以上
言語表現科目群：「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」から3科目12単位以上
-
- (6) 学科学目について、次の必修科目を修得していること
100番台科目：「観光概論」「観光立国論」「College EnglishⅠ」「College EnglishⅡ」
200番台科目：「留学準備セミナー」「リサーチ・メソッド」「College EnglishⅢ」
300番台科目：「College Reading and WritingⅠ」「観光学ゼミナールⅠ」
400番台科目：「College Reading and WritingⅡ」「English Communication Strategies」
-
- (7) 学科学目について、次の必修選択科目を修得していること
100番台科目：「観光地理学」「観光史」の中から1科目2単位以上
200番台科目：「観光社会学 A」「国際観光論 A」「観光経営学 A」「観光政策論」
「デスティネーション・マーケティング A」の中から2科目4単位以上
300番台科目：「観光開発論 A」「観光行動論 A」「観光文化論 A」「旅行事業論 A」
「宿泊事業論 A」「航空事業論 A」の中から4科目8単位以上
-
- (8) 学科学目の中から選択科目33単位以上（必修選択科目の必要数を超えた余剰単位を含む）を履修していること
-
- (9) 「観光学部留学プログラム」による1年間の海外留学を経験していること
-
- (10) 上記要件のすべてを満たし、入学後に受験した「TOEIC® Listening & Reading Test」の公開テストまたは学内実施のIPテストで700点以上のスコアを取得していること
※3月卒業は1月末、9月卒業は7月末の学部が指定する期日までに結果を提出していること
※観光学部「留学プログラム」期間中にオーストラリアで受験した公開テストも対象とする

4 卒業までの単位配分

- 観光学部では、卒業までにユニバーシティ・スタンダード科目、自学科科目の100番台科目、200番台科目、300番台科目、400番台科目および自由選択科目からそれぞれ必要となる単位数を満たすことが必要となります。

科目群	科目分類		必要単位	
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群		7単位	
	人文科学科目群		4単位	32単位以上
	社会科学科目群		4単位	
	自然科学科目群		4単位	
	学際科目群		8単位	
	言語表現科目群		12単位	
学科科目	必修科目	100番台科目	8単位	21単位
		200番台科目	5単位	
		300番台科目	4単位	
		400番台科目	4単位	
	必修選択科目	100番台科目	2単位	14単位以上
		200番台科目	4単位	
		300番台科目	8単位	
	自学科選択科目 (必修選択科目の必要数を超えた) (余剰単位を含む)		33単位以上	
	自由選択科目	他学部他学科科目 他大学との単位互換科目 ユニバーシティ・スタンダード科目 (必要数を超えた余剰単位を含む)		任意
	卒業に必要な単位数			124単位以上
卒業に必要なGPA数値			累計GPA2.00以上	
卒業に必要なTOEIC® L&Rスコア			700点以上	

5 警告制度と注意

本学では全学部に通ずる警告制度を定めており、各学期末に学修状況判定が行われます。そこで累積GPA2.00未満の学生には「警告」が出されます（制度の詳細はp.37を参照）。

さらに、観光学部では一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるのかをチェックするために、注意制度を設けております。「注意」の要件として「累積修得単位数」「累積GPA」「英語力判定テストのスコア」の3つがあり、セメスター終了ごとに基準が設けられています（下表参照）。いずれか1つ以上の基準に抵触すると注意となります。

注意を受けることは、このままの学修進捗状況では留学出発や卒業が延期になる可能性が高い、ないしは留学出発または卒業が延期になってしまうということを意味しており、学修の進め方を見直す必要があります。

年次	学期	a. セメスター終了時の累積修得単位数が下記の単位数未満	b. 累積GPAが下記の値未満	c. 英語力判定テストの結果が下記水準に未到達
1	春	15	2.20	TOEIC® L&R 400点未満
	秋	32		TOEIC® L&R 500点未満
2	春	47		—
	秋	62		TOEIC® L&R 500点未満
3	春	78		—
	秋	93		TOEIC® L&R 600点未満
4	春	109		TOEIC® L&R 650点未満
	秋	当該セメスターで卒業が不可能な学生		

※第6セメスター終了時にTOEIC® L&R 600点に到達していない場合は、卒業見込ができません。

▶警告

参照『履修ガイド』
p.37

6 観光学部が養成を目指す3つの人材像と履修モデル

- 観光学部では、人材育成目標およびカリキュラム方針に従って、以下の3つの履修モデルを設定しています。履修モデルを参考にして、第3セメスター以降から履修が可能な必修選択科目および選択科目の中からどのような科目を選択すべきかをよく考え、自らの目標を達成するために必要となる科目を履修し、勉学に邁進してください。

■履修モデル表

観光学部観光学科履修モデル			
	A. 観光ビジネスの発展に寄与できる人材（注1）	B. 観光を通じて地域の活性化に貢献できる人材	C. 観光を通じて国際交流の進展に貢献できる人材
100番 台科目	◎観光概論③、◎観光立国論①、◆観光史②、◆観光地理学②		
200番台科目	観光経営学◆A②・B② 国際観光論◆A②・B② デスティネーション・マーケティング◆A②・B②	観光政策論◆A②・B② デスティネーション・マーケティング◆A②・B② 国際観光論◆A②・B②	国際観光論◆A②・B② 観光政策論◆A②・B② 観光社会学◆A②・B②
300番台科目	旅行事業論◆A②・B② 宿泊事業論◆A②・B② 航空事業論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 交通事業論② ホスピタリティ・マネジメント② 観光キャリア論② 観光時事講義②	旅行事業論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 観光開発論◆A②・B② 観光文化論◆A②・B② 観光関連法規② 観光キャリア論② 観光時事講義②	観光文化論◆A②・B② 観光開発論◆A②・B② 観光行動論◆A②・B② 旅行事業論◆A②・B② 地域文化論② 観光キャリア論② 観光時事講義②
400番台科目	サービス・マーケティング② 観光財務情報分析② 観光経済学② イベント・ツーリズム② ホスピタリティ論② 観光情報システム②	観光まちづくり関連法規② 観光メディア論② 観光経済学② イベント・ツーリズム② アート・ツーリズム② エコ・ツーリズム②	異文化交流論② 国際協力② アート・ツーリズム② エコ・ツーリズム②

◎：必修科目、◆：必修選択科目、無印：選択科目 ○数字は単位数を示します。

（注1）履修モデルAが養成を目指す「観光ビジネスの発展に寄与できる人材」とは、旅行事業、宿泊事業、航空事業、交通事業等のいずれか一つの分野の発展に寄与できる人材を意味します。

7 履修上の留意事項

- ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、観光学部観光学科の学生が履修してはいけない科目は「観光学入門」「海外留学入門」の2科目です。
- 「ELF」「Intensive English Training」「College English」「College Reading & Writing」「English Communication Strategies」については、各種英語力判定テストの結果に基づき、クラス指定を行います。
- 留学条件を満たし、出発が許可された学生は、出発直前の学期に「留学準備セミナー」を履修します。留学出発を許可されていない学生は受講することができません。
- 「観光学ゼミナールⅠ」は必修科目です。留学終了後に履修します。
- 卒業論文を執筆する学生は、「観光学ゼミナールⅢ」と「卒業論文」を同時に履修してください。また、履修にあたって指導教員からの許可を得るようにしてください。
- 「English Communication Strategies」の単位修得のためには、通常の授業に出席して合格することに加えて、卒業要件であるTOEIC® Listening & Reading Testで700点以上のスコアを指定する期日までに獲得し、報告することが必要です。